

評価対象年度	平成 25 年度
1次評価日（主幹等）	26年 3月 31日
2次評価日（課長等）	26年 5月 31日

# 事務事業評価表（一般事業）

1 事業名	高齢者生活支援事業	コード	63101
-------	-----------	-----	-------

2 担当部課	部等 健康福祉部	課等 介護福祉課	作成者 宮澤 博文
--------	----------	----------	-----------

3 事業概要	目的体系	基本目標	ともに支えあい、健やかに暮らせるまち		
		政 策	福祉の充実	施 策	高齢者福祉の推進
		予算科目	高齢者生活支援事業費	業務委託	全部委託
		実施義務	なし（選択的事業）	国県補助	あり
		根拠法令	なし		

## ●事業の内容（D0）

4 事業の概要等		*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）
事業の概要 (簡潔に)	家に閉じこもりがちな高齢者の心身のリフレッシュを図るため、各地区公会所等を活用した健康講座や運動等を定期的実施したり、該当年齢に到達した高齢者への祝賀品等を贈呈する。高齢者の係る団体（高齢者クラブ連合会・シルバー人材センター等）への活動支援。	
目的	対象者	市内在住の概ね60歳以上の高齢者（祝賀事業については実施内容参照）
	意 図	高齢者生活における生きがいづくりを支援し、元気高齢者の増進を図るとともに地域での繋がりを広げる。

5 事業の実施内容		*25年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容
<p>○生きがいデイサービス事業 地域の支え合いを基本とし、世代間交流、社会奉仕活動、スポーツ活動、健康等の教養講座、趣味活動などを実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施地区 20地区（24ヶ所）</li> <li>・委託先 岡谷市社会福祉協議会</li> <li>・登録者 612人</li> <li>・実施場所 各区公会所等</li> <li>・実施回数 1,399回 ・延べ参加者 10,614人</li> </ul> <p>○敬老祝賀事業 年齢該当者に、敬意を表し金品を贈呈</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・祝金 88歳 3,000円贈呈 336人</li> <li>99歳 10,000円贈呈 15人</li> <li>105歳 20,000円贈呈 3人</li> <li>・祝品 男女最高齢者にカタログギフト贈呈 2人</li> </ul> <p>○高齢者クラブ連合会 20単位 会員数1,723人</p>		
前年度の課題への対応	事業に参加される方が、楽しくリピートできるように援助会等での情報交換や実施している内容の教え合い等をし、それぞれのスキルアップを図るとともに、社協・各地区と協働しながら事業周知やボランティア養成に努めた。	

6 指標の達成状況		*活動指標：この事業の規模、成果指標：この事業によって得られる住民の満足度			
区分	23年度	24年度	25年度	26年度(予算)	
① 活動指標（指標名）	生きがいデイサービス実施地区数			単位	地区
実績値	20	20	20		
*指標の説明	生きがいデイサービスを実施している地区数				
② 成果指標（指標名）	生きがいデイサービス利用者数（登録者数）			単位	人
目標値	708	700	650	620	
実績値	642	621	612		
達成度	90.7%	88.7%	94.2%		
*指標の説明	市内全域での生きがいデイサービス利用登録者数				
*目標値の設定方法の説明	予想グループ数×12				

7 ア) コストの推移

\* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分	23年度	24年度	25年度	26年度(予算)
① 直接事業費	27,928,548	24,863,197	24,955,885	26,849,000
経常経費	27,928,548	24,863,197	24,955,885	26,849,000
臨時的経費	0	0	0	0
* 臨時的経費の説明				
区分	23年度	24年度	25年度	26年度(見込み)
② 人件費	6,000,000	7,600,000	7,600,000	7,600,000
正規職員の人数(人)	0.75	0.95	0.95	0.95
③ 合計コスト(①+②)	33,928,548	32,463,197	32,555,885	34,449,000
前年度比		95.7%	100.3%	105.8%
財源内訳				
一般財源	28,570,548	28,002,697	28,062,385	29,253,000
特定財源	5,358,000	4,460,500	4,493,500	5,196,000
* 特定財源の説明				
④ 活動一単位あたりコスト	1,696,427	1,623,160	1,627,794	
前年度比		95.7%	100.3%	
⑤ コストに関する補足説明				

イ) 補助金負担金の状況

[単位：件、円、%]

補助金負担金名		23年度	24年度	25年度	26年度(予算)
長野県シルバー人材センター連合会参加費	件数	1	1	1	1
	金額	68,104	16,000	16,000	17,000
岡谷下諏訪広域シルバー人材センター補助金	件数	1	1	1	1
	金額	13,200,000	10,650,000	10,650,000	10,920,000
高齢者クラブ連合会事業補助金	件数	1	1	1	1
	金額	1,040,000	1,040,000	1,084,000	1,120,000
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
ア)の①に含まれる負担金等合計金額及び割合	合計金額	14,308,104	11,706,000	11,750,000	12,057,000
	割合	51.23%	47.08%	47.08%	44.91%

\* 行が足りない場合は追加してください

●事業の評価(CHECK)

8 妥当性評価

\* 妥当性=行政がこの事業を行う必要性はあるか。

妥当性

高い

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与すべき重要な分野である。	1	
② 民間(企業、NPO、市民団体等)へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。	1	
③ 民間(企業、NPO、市民団体等)が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

9 有効性評価

\* 有効性=成果指標(項目7/住民の満足度)は向上しているか。

有効性

標準

評価項目	はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。	1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、今年度の事業内容に反映した。	1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
④ この事業の利用者が増加した。	成果指標の実績値 前年度比 98.6%	0
⑤ 年度当初に期待した成果が得られた。	成果指標の目標値 達成度 94.2%	0

●改善の内容 (ACTION)

10 具体的な課題と改善

課題	(少ない費用で効率的に事業を行い、市民サービスを向上させる上で、現在課題になっていること) 高齢化率が年々上昇する中で、健康長寿の向上に向けた取り組みとして更なる参加者の拡大も大切であるとともに、地域が自主的に実施できる体制作りが、地域に根ざした活動として重要。	
	改善方法	(上記の課題をふまえて26年度以降に実施する、具体的な改善の内容) 各地区・社協との連携を図りながら、事業の周知を行うとともに、参加者ニーズの把握に努めながら、運営する側となる地域ボランティアの育成や地域の自主性を促す。
		改善開始時期

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による26年度の優先度 *H24年度施策評価表より転記すること	A
-----------	--------	---	---